

いちご^{いちご}会とちぎ国体

No.21

第77回国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

試合結果速報

バレーボール

種別	少年男子	会場	宇都宮市清原体育館
----	------	----	-----------

令和 4 年 10 月 9 日	日曜日	第 3 日目
-----------------	-----	--------

F	コート	第 4 試合
---	-----	--------

1回戦
 2回戦
 準々決勝
 5・7位戦
 準決勝
 3・4位戦
 決勝

(該当する種別には印)

◎試合結果

勝利チーム 熊本県 3 都道府県名	25	—	23	} 0 東京都 都道府県名
	25	—	21	
	25	—	18	
		—		
		—		
		—		

設定時刻(プロ記載時刻)
14 時 50 分

開始時刻
15 時 20 分

終了時刻
16 時 27 分

【審判員】

主審: 屋貝 直也 副審: 脇坂 克伸

記録員: 稲生 和弘 A・S: 菊池 康介 A・S: _____

【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)

設定時刻(プロ記載時刻)
時 分

開始予定時刻
時 分

組合せ
VS

No.	送信時間	送信者	競技(副)委員長	記録報道主任	記録者
	7:00	山崎	鈴木	山崎	

受信時間	記録本部

いちご一会とちぎ国体

第77回国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

審判副委員長
今井

戦評用紙

バレーボール

種別 少年男子 会場 清原体育館

令和 4 年 10 月 9 日 日曜日 第 3 日目

F コート 第 4 試合

準決勝 3・4位戦 決勝

◎試合結果

(該当する種別にレ印)

勝利チーム 熊本県 3 <small>都道府県名</small>	25	—	23	} 0 東京都 <small>都道府県名</small>
	25	—	21	
	25	—	18	
		—		
		—		

【審判員】

主審: 屋貝 直也 副審: 脇坂 克伸
記録員: 稲生 和弘 A・S: 菊池 康介 A・S: _____

【戦評】

記載者: 中田 洋輔

男子準決勝は、S大会ぶりの優勝を目指す東京都と初優勝を目指す熊本県との対戦になった。

第1セットは、両チーム共に堅い守備からエースが決め切るという形で一進一退の攻防が続いた。

終盤、熊本の4番エースの舛本が連続で力強いスパイクを決め、先取した。第2セット序盤、熊本は4番エース舛本のサービスエースなどで9-5とリード。東京も1番秋本の一人時間差スパイクなどで中盤追いつくが、終盤熊本の4番エース舛本の連続バックアタックで連取した。第3セット、中盤まで東京の8番エース佐藤と熊本の4番エース舛本の打ち合いで一進一退の攻防が続いた。中盤以降、熊本は12番リベロ小手川を中心とした鉄壁のレシーブと攻撃陣の高い決定力で一気に突き放し、ストレート勝ちを取めた。

いちご一会とちぎ国体

NO.25

第77回国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

試合結果速報 バレーボール

種別	少年男子	会場	宇都宮市清原体育館
----	------	----	-----------

令和 4 年 10 月 9 日	日曜日	第 3 日目
-----------------	-----	--------

E	コート	第 4 試合
---	-----	--------

1回戦
 2回戦
 準々決勝
 5・7位戦
 準決勝
 3・4位戦
 決勝

(該当する種別にレ印)

◎試合結果

勝利チーム 愛知県 3 都道府県名	25	—	19	} 0 長野県 都道府県名
	29	—	27	
	25	—	18	
		—		
		—		

設定時刻(プロ記載時刻)
14 時 50 分

開始時刻
14 時 50 分

終了時刻
16 時 9 分

【審判員】

主審: 勝又 禎蔵 副審: 中山 智之

記録員: 川村 義明 A・S: 高戸 和宏 A・S: _____

【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)

設定時刻(プロ記載時刻)
時 分

開始予定時刻
時 分

組合せ
VS

No.	送信時間	送信者	競技(副)委員長	記録報道主任	記録者
	17:09	見形	鈴木	見形	

受信時間	記録本部

いちご一会とちぎ国体

第77回国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

審判副委員長
今井 修造

戦評用紙

バレーボール

種別 少年男子 会場 宇都宮市清原体育館

令和 4 年 10 月 9 日 日曜日 第 3 日目

E コート 第 4 試合

準決勝 3・4位戦 決勝

◎試合結果

(該当する種別にレ印)

勝利チーム 愛知県 3 <small>都道府県名</small>	25	—	19	} 0 長野県 <small>都道府県名</small>
	29	—	27	
	25	—	18	
		—		
		—		

【審判員】

主審: 勝又 禎蔵 副審: 中山 智之
 記録員: 川村 義明 A・S: 高戸 和宏 A・S: _____

【戦評】

記載者: 森本 明子 (栃木)

男子準決勝は、愛知県6大会ぶり、長野県19大会ぶりに決勝進出を目指す一戦となった。

第1セットは、愛知県の高さを生かした角度のある攻撃と長野県の堅い守りからの速い攻撃で、中盤まで一進一退の展開が続いたが、愛知県3番笹本を中心とした高いブロックで、長野県を突き放し先取した。第2セット、長野県が粘りを見せ、終盤まで息を呑む展開が続いたが、愛知県の高いブロックとエース9番東の活躍で、愛知県が連取した。第3セット、長野県3番徳留、1番近藤のスパイクで意地を見せたが、愛知県の高さを生かしたコンビパレーが炸裂し、愛知県がストレート勝ちで決勝進出を決めた。